

平成 22 年 9 月 21 日



中国検閲検疫科学研究所(CAIQ)との第2回会合の開催

平成 22 年 9 月 8 日に NITE 製品安全センター会議室にて、中国検閲検疫科学研究所 (CAIQ) と第 2 回会合を実施しました。会合には同研究院工業検閲研究所白桦副所長、肖海清博士、朱碩技師が出席し、NITE 製品安全センター所長以下職員と両国の製品安全にかかる情報交換及び意見交換を行いました。同研究院と NITE 製品安全センターは平成 21 年 6 月 4 日に上海にて相互協力文書の調印を行っており、昨年 10 月には NITE 製品安全センターにおいて電気製品の事故原因究明技術を学ぶ OJT を、同研究院工業検閲研究所の職員に実施しています。

今回の協議において、日本での中国製品のリコール情報を収集したいとの要望があり、情報共有を進めることとなりました。



会合風景



左から CAIQ 朱技師、肖博士、白副所長及び製品安全センター職員

第4回 日中製品安全分野定期協議の開催について

平成22年9月8日、経済産業省(METI)及び中国国家質量監督検閲検疫総局(AQSIQ)は、第4回日中製品安全分野定期協議をNITE製品安全センター会議室で開催しました。協議は、ホストである経済産業省又野己知大臣官房審議官の歓迎挨拶でスタートされ、両国の製品安全政策の概要及び製品事故概要、今後の協力の在り方について議論が行われました。

協議の結果、有意義な意見交換が行われたことが確認されました。その中で、中国製品の事故情報について情報共有を強化するための具体的検討を行うこととされました。また、日本の製品安全に関する法律についてのシンポジウムを中国で開催したいとの提案があり、双方で協議を継続することで一致しました。

次回の定期協議は、来年9月、中国で開催されることが確認されました。



協議風景



中央左: 又野審議官、中央右: 刘副司長